

## 「縦の経済」から「横の経済」へ、ビジネス百年の計

～ (2014 年年末 感じる事 徒然に…)「インターネットによる革命はこれから… グローバルで物々交換の時代!？」～

ビジネスレポートに於いて、最近是比较的 目先、現実の事業のマイクロ展開について述べてきたので、今月は逆に、マクロ的な視点よりマーケットとビジネスを俯瞰してみたいと思います。

「北米は、産業の歴史に於いて、ある段階から経済の主役を自動車、家電等の組み立て産業から IT 革命による情報産業に移し、この領域をベースに主導権を取り戻しました。同時に、金融を高度な商品ビジネスへと変化した事で、グローバル規模で経済ルールを仕切り直し、デファクト・スタンダードをつくり上げました。

但、経済に混乱をきたしている部分があるようにも感じます。即ち、グローバル規模で地理的に、時間的に制限を超え、実体経済の数倍のマネーが流通し、更にその数十倍のポイント含む擬似マネーが流通する中、正確に実態を把握する事は不可能に近い状態となっています。(日本は別の次元で 危機的な状況にあると言われます。国民一人当たりの借金が800万円を越え、現在はマネー供給過多の中、2020 年五輪後には ハイパーインフレ、金利高騰、デフォルト等のリスクが高まります。) 貨幣経済に於いては本来、貨幣が媒介となり、ある種、価値は等価で交換される原則であったはずが、金融が商品化した現在、マネーは 手っ取り早く(?)「稼ぐ」ゲームの対象となっている様です。

一方で、インターネットが実現しつつあるパラダイムは、グローバル規模で地理的、時間的な制約を超え、所謂、ある種 1 対 1 で双方が認めた価値を「matching」により交換できるようになった事です。これは、論理的には、世界中の人びとは地理的、時間的な制限を超え、謂わば「物々交換」を行う事等が可能になるという様なものです。益々、供給者でなく 需要者による経済にシフトしていくという事です。

ビジネスに於いて、インターネットによる革命はこれからです。更には、これが現在生じている資本主義経済の諸々の問題に変化を与える切掛けとなるかもしれません。

知的財産、著作権により構成される書籍、映像、音楽等のビジネスの流通構造に於いても、過去の延長に無い「突然変異」が起きようとしており、成長、進化のキーワードは、「matching」によるものです。

過去、貨幣経済により、貨幣を介し等価交換を行なった時代から、貨幣を介さず「直接」の等価交換が可能となった現在、生産者が消費者に川上 (A) から川下 (B) に上下に流す様な「縦の経済」から、ある部分、発信者 (A) がイコール受信者 (B) となる「横の経済」に移行していくようです。

過去、供給者である川上 (A) が力を持ち、価値であった背景には、それを生み出し、需要者である川下 (B) に届ける為に生産、訴求、流通に大きなコストがありました。今、ネットワーク上に於いては、そのコストが零に近づきつつあります。音楽、映像、絵画、書籍含め 有償無償に関わらず、ある部分、究極的なコンテンツの流通は、求める人同士を繋ぎ、「matching」によりコンテンツを交換するパラダイムであると思われます。

いずれ実現する (A) と (B) の「matching」による「横の経済」によるビジネスに於いては、発信者 (=受信者) (A) と受信者 (=発信者) (B) のそれぞれの属性をセグメントしたデータベースが「鍵」となります。

当社の目指す事業、著作権隣接権の管理運用ビジネスとは、個人単位の原盤者が増加する中で、個人の権利者を対象としたライセンス管理がコンセプトです。そしてライセンス管理に於いては、個人の利用者が、求める原盤をオファーし、ニーズに合った個人の権利者の原盤と「matching」しお互いに取引が成立するというものです。それを或る明文化された規約規定に基づき自由に(事後の)報酬請求型により行うというものです。

音楽、映像、絵画、書籍含め、有償無償に関わらず、コンテンツの普遍的価値は、人間にとっての「メッセージ」です。メッセージにはある種、益々、代替が利かないリアリティが求められ、そのクリエイティブの背景や情熱も厳しく見られ、評価されるようになりました。そこに金銭的価値を与え、資本の循環を維持、発展し、プロフェッショナルをインキュベートするところが 知的財産、著作権等を扱う「ライセンス管理」ビジネスの役割です。

又、インターネットにより、瞬時にして世界中の人々が繋がりコミュニケーションできるようになった現在、軍事、国境、経済という各レイヤーを超え、人びとは、情報と事実を共有し、より良い方向への変化が実現できるようになりました。(若し今、John Lennon が「Imagine」をうたえば、そのメッセージは一瞬に世界中で同じベクトルに共有されます..)

我々のビジネスの貢献は、このメッセージの流通、活性化、共有、育成に関するものに他なりません。我々が目指すライセンス管理のビジネスを実現する「データベース」のコンセプトは、将来実現される「横の経済」に於ける、供給者であり且つ需要者である (A) と (B)、それぞれのセグメントと「matching」を行うデータベースの本質を反映したのもでもあります。

これから更に「縦の経済」から「横の経済」へ移行していく時代にあって、長期的事業のベースを考えた ビジネス百年の計に思い至ります。激動の中にあり 目先のビジネスも確りと睨みつつも。」

以上